

## 留学レポート②

こんにちは。シアトルに滞在している佐々木穂菜です。

前回のレポート作成から約1ヶ月が経ちました。

今回も友達とたくさんの思い出を作ることができました。カルフォルニアのディズニーランドに行ったり、イチローの引退セレモニーを見るために野球場に行ったりしました。(名前が一緒なのと応援がとても楽しかったのでマリナーズファンになりました！)

これから活動報告をしていきます。

※前回の活動計画を参照

### ②パイク・プレイス・マーケットでのインタビュー、アンケート調査

最初にパイク・プレイス・マーケット名物「魚を投げて売る」パフォーマンスをするお店の店員さんにインタビューしました。インタビュー前日、インターン先の方にお店の方は質問を受けてくれるかどうか分からないと言われました。なぜなら以前とある会社がフィッシュ哲学(パフォーマンスのきっかけになった考え方)について講演してほしいとリクエストしたところ100万ほどかかると言われたそうです。なので、インタビューできるかとても不安でした。しかし頼んでみたところ快く引き受けてくださりとても嬉しかったです。大変勉強になるマーケティングの仕方を教えていただきました。



そしてお客さんにも4つの質問をしました。「ごめんなさい」と言われることも多かったのですが積極的に話しかけることができたと思います。この日は人生の中で最も緊張した瞬間ベスト3位にランクインした1日でした。

### ③観光船や Festival に行きインタビューを行う

大船渡市の観光資源である「碁石海岸での遊覧船」サイズの船はシアトルにはありませんでしたが地元で有名なクルーズに乗ってきました。以前東京でクルーズに乗ったことがあったので比較しながら見ることができました。やはり実際に行ってみないと分からないこ

とがたくさんあるなと思いました。Festival については Washington 州で定期的を開催している大きなお祭りに行ってきたのですが、インタビューができませんでした。なので、以前 Japanese Festival に行った際に主催していたお店にインタビューをさせていただきました。シアトルの人は自分で祭りを起こそう、まちを盛り上げようという気持ちが強いのだなと感じました。



#### ④語学学校での勉強

疑問をそのままにするのではなく積極的に先生に質問しながら授業を受けていました。そのおかげもあってか来る前より英語が上達したように感じます。ホストマザーやルームメイトからも上達したねと褒めていただけて嬉しかったです。

「ただ英語を学ぶ」だけではできない体験をトビタテのおかげですることができました。自分が学びたいと思うこと(シアトルの観光について)をフィールドワークという形で行動に移しその結果学ぶことができました。もしトビタテを使って行っていなかったならば行動はできていなかったと思います。トビタテのおかげで「自分の学びたいことが明確になり」「一緒に行った友達も頑張っているという励み」を持つことができました。本当にありがとうございました。

そして今回の留学は人に恵まれてるなどとても実感しました。インターン先の方々にとってもよくしてもらい、シアトルでできた友達とはたくさんの楽しい思い出を作ることができ



ました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

2 ヶ月という短い期間でしたが自分のターニングポイントだと思えるほど充実した毎日を送ることができました。

最後まで読んでいただきありがとうございました。